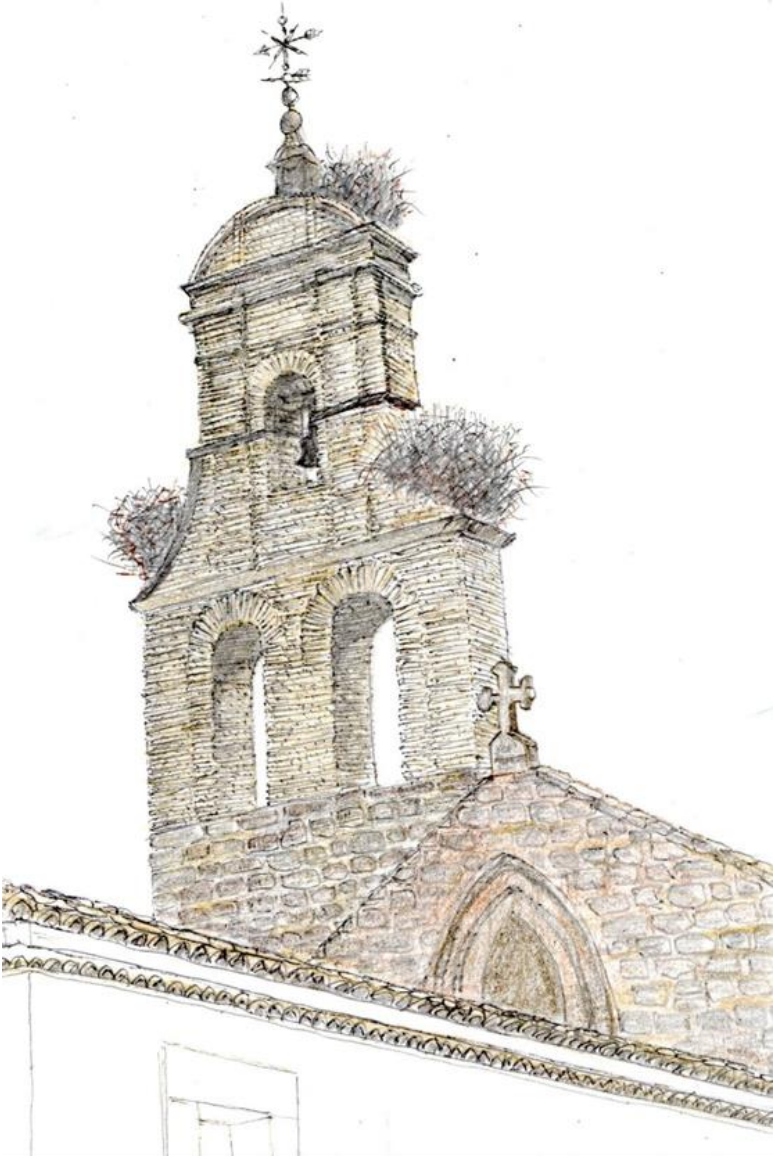
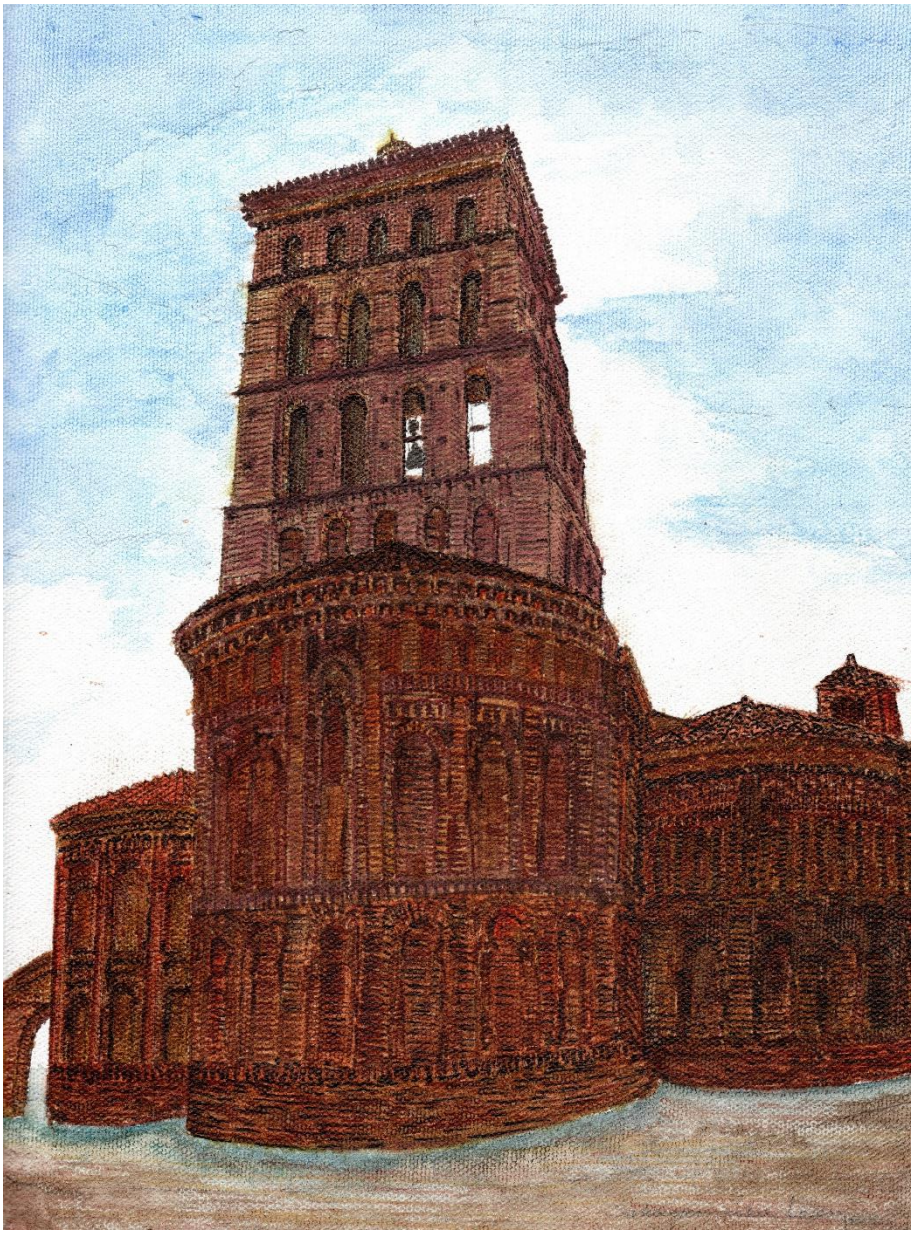
★アビラの聖ペドロ聖堂
ロマネスク様式の左右均衡の取れた見事な聖堂です。
城塞都市アビラの城壁の外にあり、聖堂前のサンタテレサ広場の
奥には巨大な城門が見えます。
絵は後陣から見ています。



★アビラの聖アンナ修道院
王家の子女教育の修道院でした。イザベル女王も幼少期を過ごしています。現在は行政機関が入っています。
鐘楼の上では鸛が営巣しています。

★アストルガの司教館
司教の友人だったガウディが設計しました。
ガウディは設計図を送った後、一度も現場を訪れていません。
お伽噺の城のようで、当初から論争を巻き起こしています。
バルセロナの建築群の陰に埋もれてしまっている、ガウディ建築の逸品を見ることができます。
現在は博物館になっています。



★サアグンの聖ロレンツォ聖堂

★サアグンの聖ロレンツォ聖堂
聖ティルソ聖堂同様に、11 世紀に建設されています。ロマネスク様式の聖堂の上に聖ティルソ聖堂より巨大なムデハル様式の鐘楼が載っています。

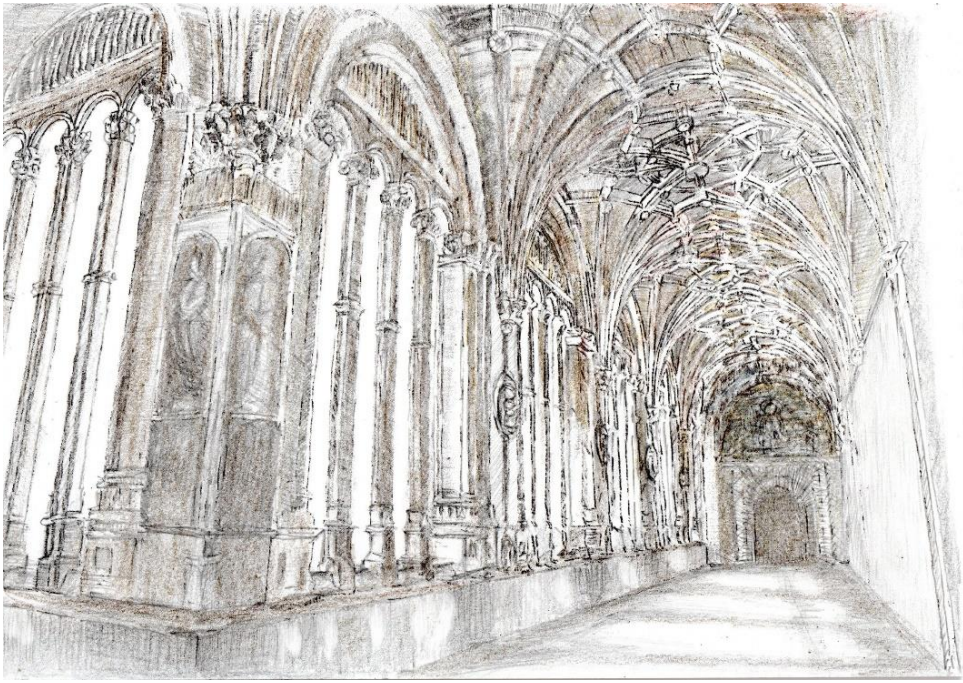
★サアグンの聖ティルソ聖堂

11 世紀に建設されたロマネスク様式の聖堂の、内陣が位置する上に、四層のムデハル様式の鐘楼が載っています。

サアグンは 11 世紀には首都として繁栄し、このほかにも多くの聖堂が建設されました。

現在では巡礼者も通過する、歴史から忘れられた寒村となっています。

★サラマンカ大学
学長室のある建屋。テラコッタの飾りは何を意味しているのか不明です。後方は新大聖堂。



★サラマンカの聖エステバン聖堂
宗教改革後に開催された、トレント公会議にスペインを代表して
大使節団を送り込んだドメニコ派の大きな聖堂です。
正面はプラテレスクで装飾されています。
この回廊は「王の回廊」と呼ばれています。

★サラマンカの大聖堂

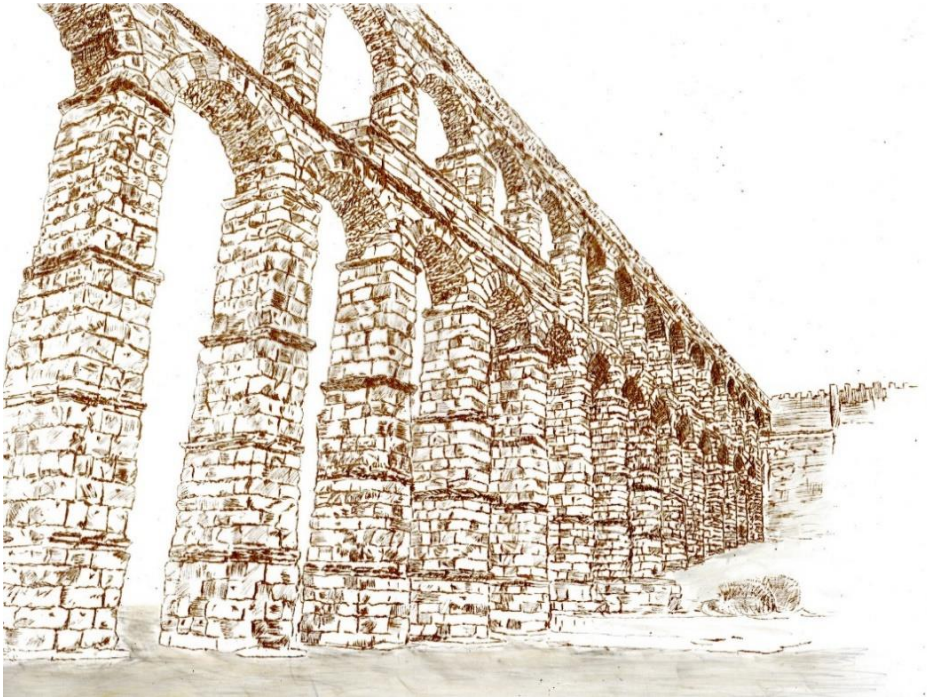
旧大聖堂が狭くなり、隣接して巨大な新大聖堂を建設しています。

手前の円蓋部分が旧大聖堂です。

★サラマンカの旧大聖堂

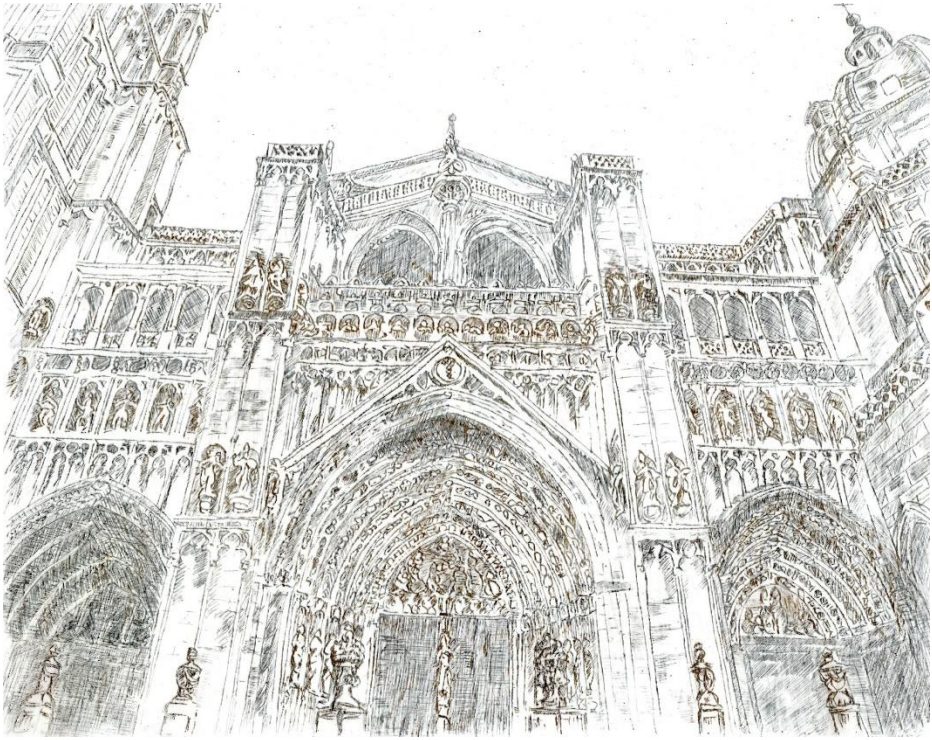
隣接する新大聖堂の脇の塔から旧大聖堂の屋根上に登れます。

円蓋は十二角錐形で、うろこ状の石で葺かれており、四隅には小尖塔がたち、その間に柱廊を据えて複雑な形状になっています。

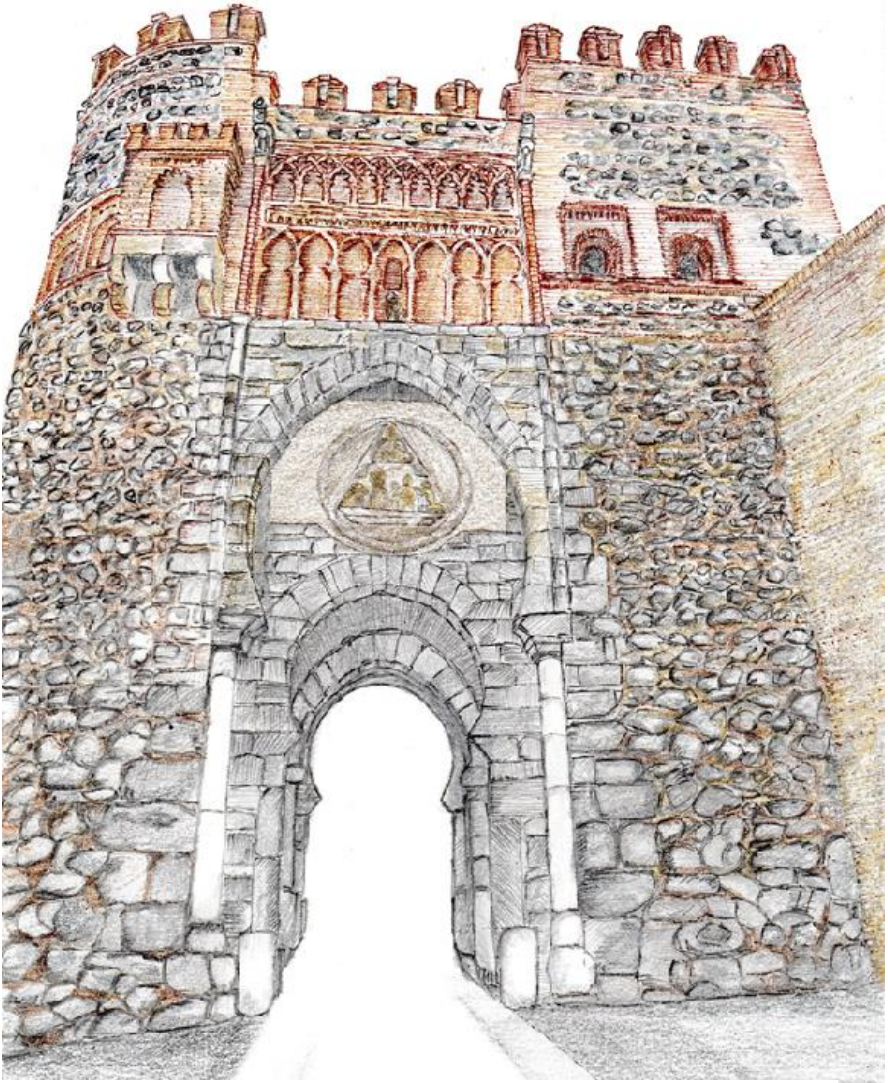


★セゴビアにあるローマ時代の水道橋
紀元 1 世紀から 2 世紀にかけて建設されています。
長さは 818 メートル、高さは 29 メートルあり、橋梁は 167 あります。
ローマの土木建築技術の粋を見せつけられます。

★セゴビアの聖アンドレス聖堂



★トレドの大聖堂
後期ゴティック様式、ムデハル様式、ルネサンス様式、更には、バロック様式までが混在しています。
側廊の外側に、城壁のように多くの礼拝堂がならぶ壮大な規模の聖堂です。
正面の鐘楼は片側が未完成です。この正面扉口は通常閉鎖されており、南袖廊の扉口から入場します。



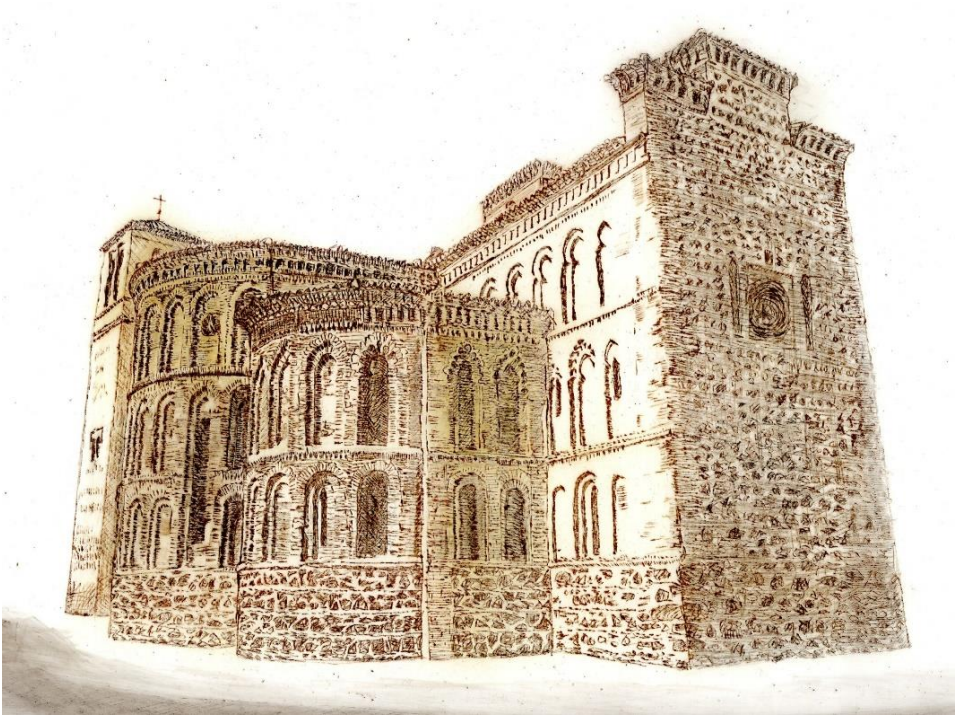
★トレドの太陽の門

城壁都市トレドを代表する城門の一つです。

門の表裏に「太陽と月」が描かれていたことからの命名とされています。

★トレドの聖十字架聖堂

正面は細密なプラテレスク装飾が施されています。現在は博物館です。



★トレドの聖サンティアゴ・エル・マヨール聖堂
城壁の外にあります。
太陽の門の近くです。
ロマネスク様式とムデハル様式が混在しています。
落ち着いた造りです。

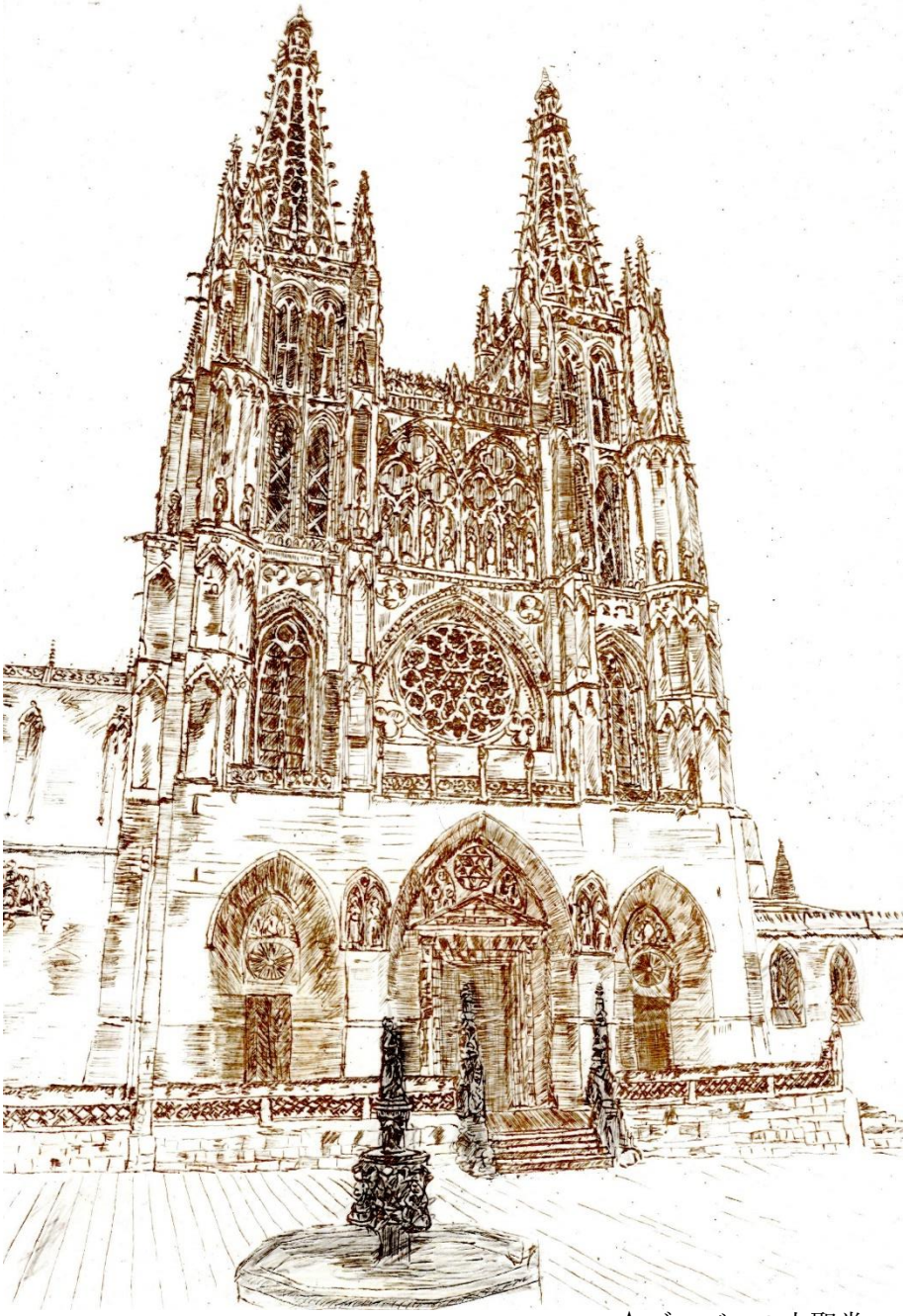
★パレンシアの聖アントリン大聖堂
街の規模にふさわしくないほどの巨大な聖堂です。
聖アントリンは７世紀の西ゴート王国時代の聖職者です。

★パレンシアの聖ミゲル聖堂
高い鐘楼は街のシンボルになっています。
その高い鐘楼の左側にのみ半円筒形の塔が側柱のように付いています。
正面から見ると何ともバランスが取れていません。
絵は後陣から見ています。

★バリャドリッドの聖パブロ聖堂

正面のプラテレスク装飾が見事です。脇の鐘楼は非常にシンプルです。前ではライオンが紋章を掲げています。

★バリャドリッドのサンティアゴ聖堂
繁華街にある小さな聖堂です。
正面の扉口脇の左右の側柱は太さ長さが極端に違っています。
当初は大きな側柱一本で充分と考えたのでしょうか、補強のために追加した小さな側柱は資金難で太くできなかったのでしょうか。なんともバランスが取れていません。

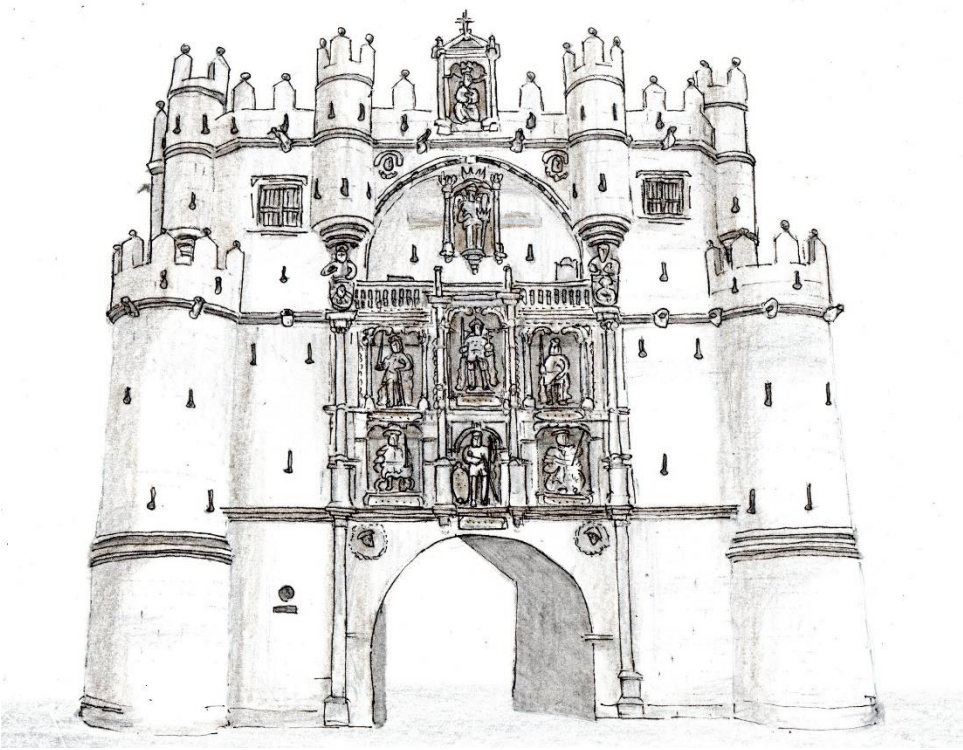


★ブルゴスの大聖堂

★ブルゴスの大聖堂

スペイン=ゴティック様式の建築の最高峰です。

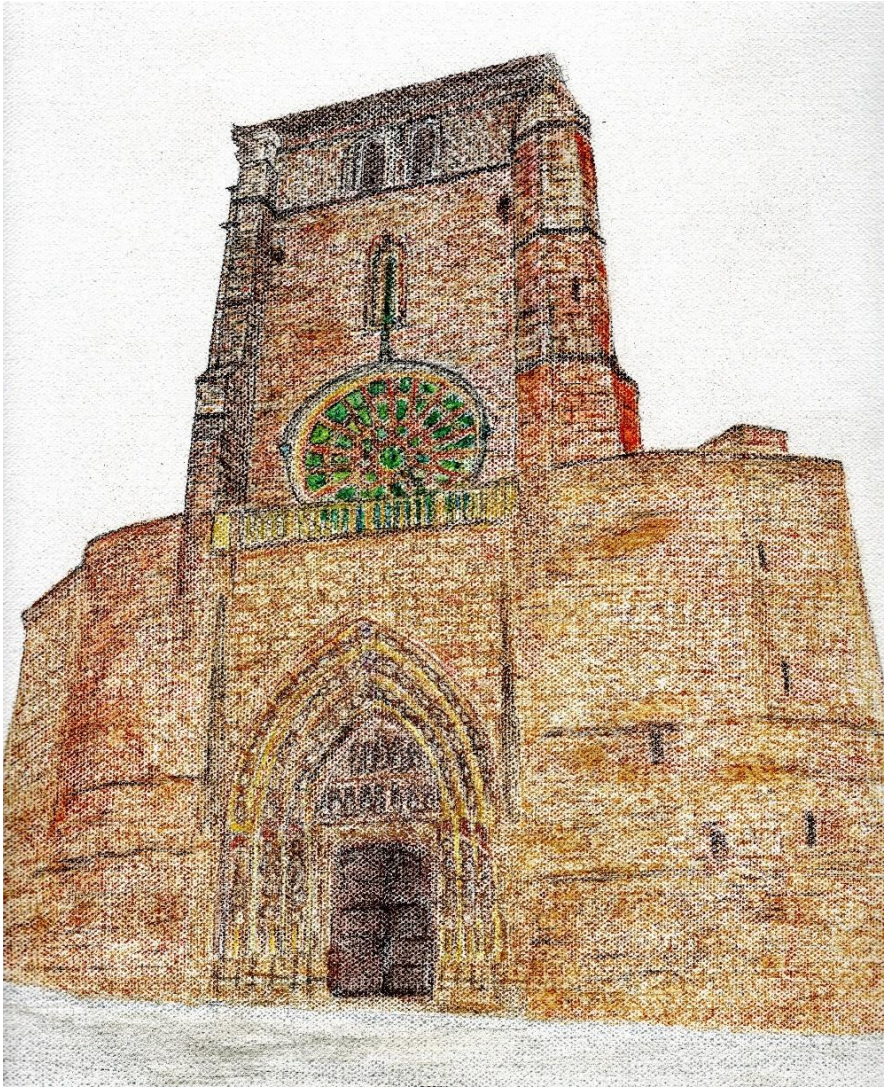
前の広場には聖母子の噴水があります。



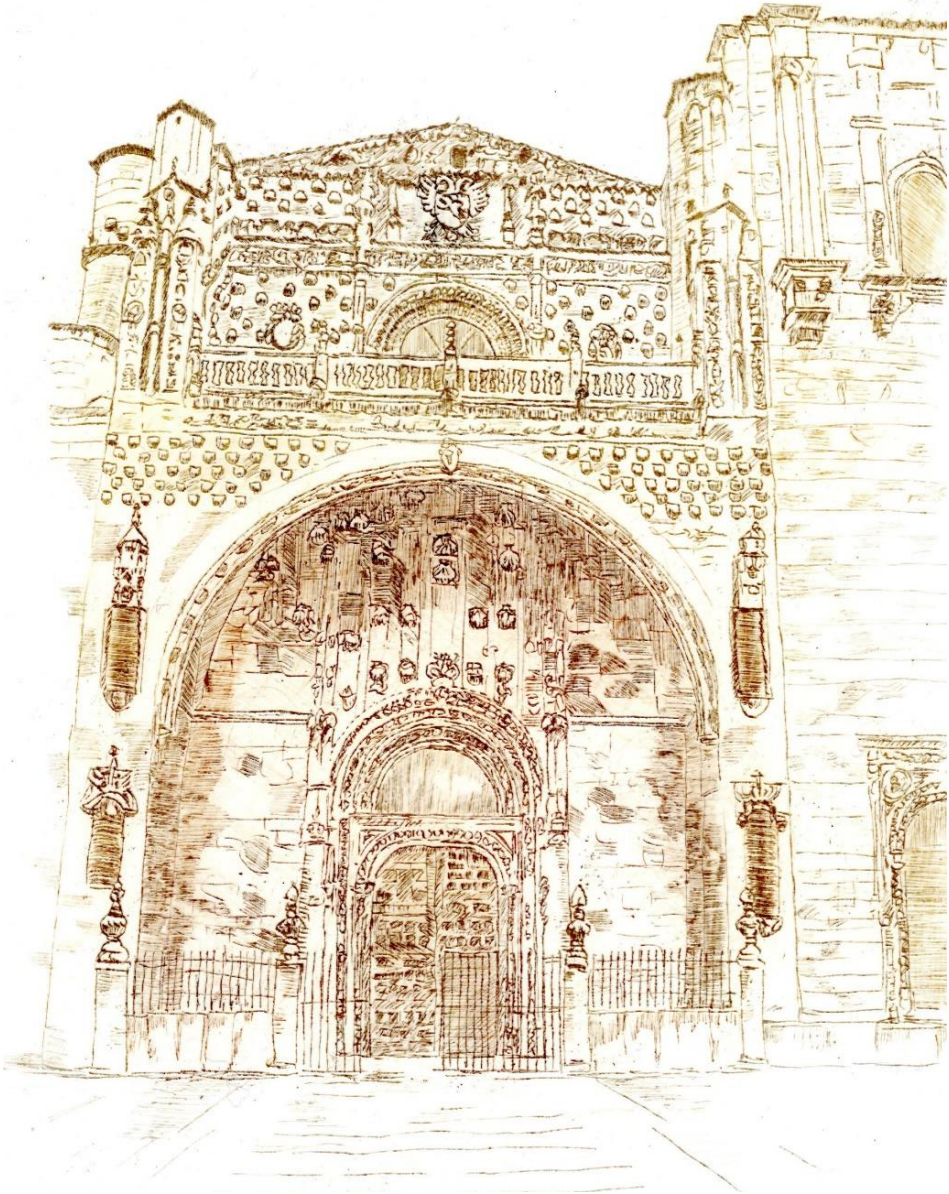
★ブルゴスのサンタマリア門

神聖ローマ帝国皇帝カール５世（スペイン王としてカルロス１世）の凱旋門です。門をくぐると大聖堂前の広場に出ます。

聖母子、大天使、の下の中央に皇帝、その右脇はレコンキスタの英雄エル・シドです。



★ブルゴスの聖エステバン聖堂
城塞のようなごつい造りです。
現在では祭壇衝立の博物館になっています。
薔薇窓の両脇の側柱の太さが左右で極端に異なっています。



★レオンの聖マルコ聖堂

正面には貝殻の彫刻が施されています。

隣接する修道院は現在豪華なホテルになっています。

★レオンの聖メルカド聖堂　（1）

街でも古い聖堂に属します。

ロマネスク様式の窓枠は風化が進んでいます。

★レオンの聖メルカド聖堂　（2）

ロマネスク様式の聖堂の両脇には紋章を掲げるライオンが立っています。

あどけない表情のライオンは、聖堂建設時代の物ではなく、その掲げる王冠の形状から 16 世紀のフェリッペ 2 世の時代の制作と推定されます。